

藻類のエネルギー利用 (藻類バイオマス)

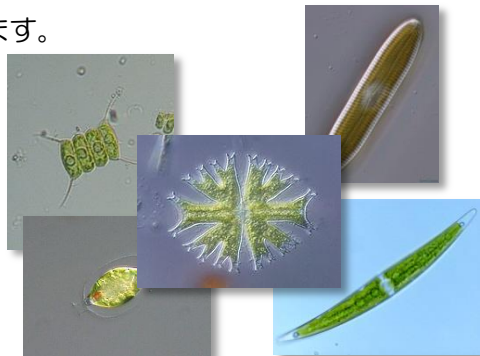
藻類ってなに？

酸素を発生させる光合成を行う生き物のうち、コケ植物、シダ植物、種子植物を除いたものの総称です。池や川に住んでいる「も」や海でとれるコンブなども藻類の仲間です。私たちの身近なところでも、水があるところにはいろんな藻類が住んでいます。



身近にある池や川など

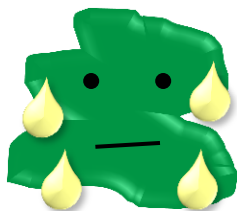
かくだい
拡大してみると・・・



いろんな藻類がいるよ！

藻類のエネルギー利用ってどういうこと??

エネルギー利用のしくみ



藻類は栄養を蓄えるため体(細胞)の中や外にオイルを作っています。

このオイルをとりだすことで



オイル

エネルギーとして利用できます。

藻類のオイルは何に使えるの？

藻類から取れたオイルは、将来なくなることが心配されている石油の代わりに使えるエネルギーとして以下のような使い方が期待されています。

- ・燃料として燃やして発電するためのエネルギー
- ・自動車や航空機などを動かすための燃料としてのエネルギー
- ・ストーブなどの燃料としてのエネルギー



種類によってはエネルギーのほか、化粧品や医薬品、健康食品などとして使える成分も入っています。

藻類オイルの特徴

藻類のオイルも燃やすと地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)が発生しますが、多くの藻類は育つ過程で光合成によりCO₂を吸収します。このため、CO₂は発生した分と吸収した分のプラスマイナスでゼロとなり、このような特徴からクリーンなエネルギーとしても期待されています。

